

空間知覚拡張のための“聞こえる化”デバイスの開発

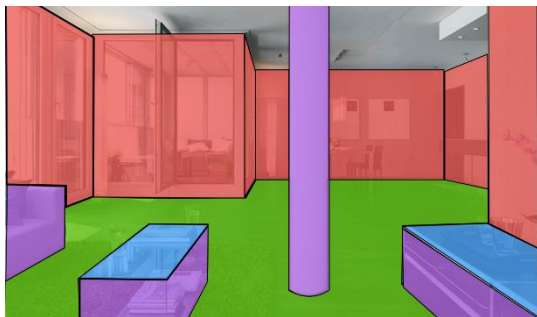
— 視覚代行による“知覚旅行”の実現 —

和家尚希 伏見遼平 鈴木良平 宗像悠里



概要

「音による視覚体験」を実現することで、普段慣れ親しんだ知覚の様式から一步踏み出す体験（知覚旅行）を提供するデバイスを開発した。知覚心理学における研究やエンターテインメント目的の応用を想定。



開発した技術

- ・ 深度画像を処理して空間の意味的構造を解析するアルゴリズム
- ・ 空間配置に基いてサウンドスケープを生成する立体音響合成手法
- ・ デプスカメラを搭載した独自のウェアラブルハードウェア



プロジェクトの成果

- ・ 壁を避けて歩く、人のいる方向に向かってボールを投げるなどの空間知覚タスクの実現
- ・ 独特の空間知覚体験 = 新たな「見え」についての知見
- ・ スポーツやアトラクションへの応用可能性